

高校生・原典講読のお知らせ

George Orwell の *Animal Farm* (邦訳：動物農場) を原書で一冊全部 (約 100 ページ) 通読していただきます。正統的な美しい文体で知られるオーウェルの作品を短期間で集中的に通読して、英文による読書の醍醐味と感動を味わっていただきたいと思います。

英語の本を最後まで読みきるという経験は、達成感が得られるだけでなく大きな自信となり、今後の英語学習の助けとなります。また、昨今の大学入試では相当量の長文が出題され、速読力が要求されています。この読解講座は夏期と冬期に開講しております。高校生の中に一度は受講するようにしてください。

***対象学年： 高校生**

*西武渋谷店、A館 7F の紀伊国屋書店「平岡塾コーナー」にて *Animal Farm* (PENGUIN 出版) をなるべく早めに購入して必ず予習した上で出席してください。

*講習日時・受講料等は、別途配布の「講習のお知らせ」をご覧ください。

講義の進め方

第1日目 Chapter I ~ Chapter III (p.1~p.26)

第2日目 Chapter IV ~ Chapter VI (p.27~p.53)

第3日目 Chapter VII ~ Chapter VIII (p.54~p.79)

第4日目 Chapter IX ~ Chapter X (p.80~p.102)

各受講生に1ページ単位で日本語訳の発表箇所を割り当てます。受講者数にもよりますが平均的に各生徒2~3ページ(別々の章で)の割り当てになります。第1日目(p.1~p.26)は、その場でどこをあてられても対応できるように予習してきてください。

講義の目的

英文の文法構造を分析し精確に和訳する、いわゆる「精読」もたいへん重要ですが、それだけではバランスを欠き、本物の読解力は身につけません。英文を読む際には、漢文式の読解方法と違って、文の流れに逆らわないで前から読み下して意味を理解していく力が重要になってきます。この読解講座では「英語を英語として自然に前から読み進める」訓練に焦点を当て、速読力を身につけていただきます。

英語を聴き続けていると「耳が慣れて」くるのと同様に、英文を読み続けていると「目が慣れて」きます。「知らぬ間に自然と英文が目に入ってきて、英文を読むのが楽になった。」というような感覚を早い時期に味わっていただきたいと思います。

予習のポイント

美しい立派な日本語訳を作成することが主眼ではありません。意識的に英文を前から訳し下して、和訳発表するときは英文構造を理解した思考過程が伝わるようにしてください。その際、句や節などの意味のかたまり(前置詞句や that 節など)に注意してください。